

## 乳 がん 検 診 ( 巡 回 )

### 動 向

巡回検診の受診者数は県域では249名の増加であったが、横浜市では3,351名の減少となった。横浜市では13年10月よりマンモグラフィ検診が併用され、受診対象者が50歳以上の遇数年となり14年度より通年で実施されたためである。

県域部の検診は当協会が事務局を引き受けている「乳がん集団検診協力医療機関連絡会（会長＝福田護 聖マリアンナ医科大学乳腺・内分泌外科教授〔14年度より〕）」の指導により遂行されている。同連絡会は「県成人病検診管理指導協議会乳がん分科会（会長＝同上、事務局＝県福祉部高齢者保健福祉課）」の指導のもとに運営されている。

横浜市より受託の検診は「横浜市乳がん検診協議会（会長＝土屋周二・横浜市立大学名誉教授）」の指導のもと、市衛生局ならびに各保健所と協力して検診を実施している。

横浜市のマンモグラフィ検診は、50歳以上の遇数年齢者に対し市内で装置を有する医療機関で実施されており、集団検診においては、視触診による検診を行い市内のマンモグラフィ実施医療機関を紹介して、受診をしてもらうシステムとなっている。

なお、当協会は総合判定機関として、マンモグラフィの二重読影と総合判定業務を受託して、検診の精度管理向上の一翼を担っている。

14年10月には、宝くじ協会の寄贈によりマンモグラフィ検診車が導入された。これにより協会は施設・巡回とも国の基準に準拠した健診体制が整備された。

受診者総数は県域では昨年につづきやや増加しているが、横浜市では大幅に減少している。県域では初診者が200人以上増加しているが、再診者数は変わらない。横浜市では両者とも減少している。受診者の年齢分布は、県域では50歳以上の受診者が相変わらず多いが、横浜市では50歳以上はマンモグラフィ併用検診が遇数年隔年となったため、減少し平均化しているものと思われる。

要精検率は県域、横浜市とも変わらず、精検受診率は県域が横浜市に比べ例年の如く10%近く低いが、発見乳がんは県域23人、0.15%と数、率とも倍増、横浜市は22人、0.20%と数は減少しているが、率は変わらない。初診者の発見乳がん率は、県域では0.30%、横浜市では0.32%と変わらず、いずれも再診者に比べ高いのは当然だが、14年度の特徴は年齢分布が、県域では40歳代が多く、横浜市では平均的である。進行の比較的早い40歳代の検診はまだ視触診のみで、マンモグラフィあるいは超音波の併用も早急に検討されるべきであるが、最近のマスコミその他のメディアではマンモグラフィあるいは超音波が乳がん検診に万能で

あるかの感を与えかねないものがある。しかし、自己触診と視触診はスクリーニング上最も経済的かつ早い方法であることには変わりなく、ないがしろにしてはならない。

発見乳がんについてはステージ Ⅰ以下が44%、Ⅱ以上が56%で、T1以下T2以上に準じている。

予後に最も関係するNは、N0 85%と前年よりやや良好である。（詳細にDataが得られたもののみの集計ではあるが）横浜市にマンモグラフィ併用検診が実施されたためと考えたい。

なお当協会では15年度より導入されたマンモグラフィ検診車を稼働しているが、まだ県域の一部の自治体の要請のみで、多くの自治体、医師会あるいは企業等の要請に答えるべく準備がすでに整って、待っているところである。

### 1．横浜市乳がん（22名）

#### 1) 自覚症状・しこりと発見がんステージ

|        | ステージ |   |   |    |     | 計  |
|--------|------|---|---|----|-----|----|
|        | Tis  | 0 | I | Ⅱ  | Ⅲ以上 |    |
| 自覚症状有り |      |   | 7 | 7  | 1   | 15 |
| 自覚症状無し | 1    |   | 2 | 3  | 1   | 7  |
| 計      | 1    |   | 9 | 10 | 2   | 22 |

### 2．県域乳がん（23名）

#### 1) 自覚症状・しこりとステージ

|        | ステージ |   |   |   |     | 計  |
|--------|------|---|---|---|-----|----|
|        | Tis  | 0 | I | Ⅱ | Ⅲ以上 |    |
| 自覚症状有り |      | 1 |   | 4 |     | 5  |
| 自覚症状無し | 2    |   | 3 | 4 |     | 9  |
| 計      | 2    | 1 | 3 | 8 |     | 14 |

尚、9件については調査用紙未返送

#### 2) 自己触診の実施状況とステージ

|           | ステージ |   |   |   |     | 計  |
|-----------|------|---|---|---|-----|----|
|           | Tis  | 0 | I | Ⅱ | Ⅲ以上 |    |
| 自己触診している  | 1    | 1 | 2 | 4 |     | 8  |
| 自己触診していない | 1    |   | 1 | 4 |     | 6  |
| 計         | 2    | 1 | 3 | 8 |     | 14 |

尚、9件については調査用紙未返送

### 3．全域乳がん（45名）

#### 1) 自覚症状・しこりと発見がんステージ

|        | ステージ |   |    |    |     | 計  |
|--------|------|---|----|----|-----|----|
|        | Tis  | 0 | I  | Ⅱ  | Ⅲ以上 |    |
| 自覚症状有り |      | 1 | 7  | 11 | 1   | 20 |
| 自覚症状無し | 3    |   | 5  | 7  | 1   | 16 |
| 計      | 3    | 1 | 12 | 18 | 2   | 36 |

尚、9件については調査用紙未返送

関係の集計表は99～102頁に掲載